

令和3年度第2回喜多方市総合教育会議議事録

1 日 時 令和4年2月9日(水) 13:15～14:15

2 場 所 喜多方市役所 2階 庁議室

3 出席者

(構成員)	市長	遠藤 忠一
	教育委員会教育長	大場 健哉
	教育委員会委員	荒明 美恵子
	教育委員会委員	高橋 明子
	教育委員会委員	遠藤 一幸
	教育委員会委員	大森 佳彦
(事務局)	企画政策部長	齋藤 進
	企画調整課長補佐	齋藤 哲
	企画政策班副主査	齋藤 翔太
	教育部長	高畑 圭一
	教育総務課長	佐野 仁美
	学校教育課長	穴澤 正志
	学校教育課長補佐	油井 弘美

4 欠席者

なし

5 協議事項

(1)喜多方市教育大綱について

(2)学力調査に係る結果の公表について

6 内 容

●齋藤企画政策部長

ただいまより、令和3年度第2回喜多方市総合教育会議を開会いたします。

はじめに、遠藤市長よりごあいさつ申し上げます。

●遠藤市長

教育委員の皆さまにおかれましては、ご多用の中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、日頃より本市教育の充実のためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、本市教育大綱につきましては、平成29年度から令和8年度までの10年間の計

画期間とする「喜多方市教育振興基本計画」の基本理念及び基本目標を大綱として位置付けているところでありますが、本計画の策定からこれまでの間の様々な社会状況の変化を踏まえ、現在見直しを行っているところであります。

本日の会議では、教育大綱について、また、学力調査に係る結果の公表について協議してまいりたいと存じますので、教育委員の皆さまには忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。

●齋藤企画政策部長

ありがとうございました。続きまして、「3 協議事項」に入りますが、本市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により、市長のもとで議事進行をお願いします。

●遠藤市長

それでは、協議事項に入ります。

はじめに、「(1)喜多方市教育大綱について」所管課より説明をお願いします。

●佐野教育総務課長

本市の教育大綱については、平成29年度より喜多方市教育振興基本計画に掲げております基本理念及び基本目標を位置付けているところであります。令和3年度におきましては、本市教育振興基本計画の見直しをしておりますので、はじめにこちらの説明をさせていただきます。資料「喜多方市教育振興基本計画の見直しについて」をご覧ください。

「1 計画見直しの趣旨」であります。本市では、平成29年3月に平成29年度から令和8年度までの10年間を期間とする喜多方市教育振興基本計画を策定し、教育振興に取り組んでいるところであります。本計画の策定後、人口減少と少子高齢化の進行、学指指導要領の改訂、ICT、人工知能（AI）等の技術革新、国際化の一層の進展など本市の教育を取り巻く環境が大きく変化してきたところです。

さらに、これまでに経験したことのないような自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大などの不測の事態においても「学びを止めない」という対応が求められております。

また、今年度、市の総合計画の見直しが行われているところであり、様々な状況の変化を踏まえ、本計画の見直しをしているところであります。

次に、「2 見直しによる主な変更点」であります。(1)基本理念、基本目標及び施策展開の方針については、10年間を計画期間としていることから、原則として継続することとしたところであります。

(2)施策目標、重点的に取り組む施策については、「施策目標」ごとに現状と課題を整理し、「重点的に取り組む施策」を設定したところであります。

(3)指標と目標値については、追加や一部見直しを行うとともに、各年度に目標値を設定したところであります。

(4)見直しの方針については、①地域社会みんなで子どもたちを育てる施策を強化

する。②新たな時代を生き抜く子どもに必要な資質・能力育成を目指したICT教育を強化する。③人生100年時代を見通した学びの場づくりを強化する。④喜多方市公共施設等総合管理計画個別施設計画に基づく施設の整備を追加する。⑤各施策目標にSDGsの目標との関連を位置付けする。

次に、「3 パブリック・コメント制度による意見等の募集」であります。去る1月12日から31日までの20日間で募集を行い、特に意見等はなかったところであります。

「4 計画の案」につきましては、別冊にて説明いたしますので、「喜多方市教育振興基本計画＜令和3年度見直し＞（案）」をご覧ください。表紙をめくっていただき、目次になります。見直しの計画については、第1章から第5章までで構成されており、計画策定時からこれまでの社会情勢や国・県における教育の振興策の変化、本市の教育を取り巻く状況の変化、さらには計画策定時からこれまでの総括をした結果を踏まえ、見直しにおいて変更となる内容の方針を示した上で、教育の振興のための基本理念と基本目標を掲げ、施策展開をしていくものであります。基本理念と基本目標についてご説明いたしますので、14ページ目をご覧ください。

本市の総合計画「きたかた活力推進プラン」に掲げる将来の都市像「力強い産業人が輝く 活力満ちる安心・快適なまち」の実現を目指し、子どもたちや市民が願っている教育を実現させる教育振興策に取り組んでいくため、教育振興に向けた基本理念と基本目標を掲げるものであります。

基本理念であります。「まちづくりは人づくり」の考えから、確かな学力と豊かな心を身に付け、自分自身に揺るぎない自信を持ち、豊かな自然や歴史・文化に恵まれた郷土を愛し、自立しながらも地域社会の中で絆を大切に、共に力強く生き抜いていく力を持った人材を育成していくため、本市の教育振興の基本的な考え方として、「自分と郷土を誇り、自立と共生の精神をもって、たくましく生きる喜多方人の育成」を掲げております。

次に、基本目標であります。基本理念のもと、学校教育、生涯学習、歴史・文化・芸術の3つの分野に基本目標を掲げ、教育振興策を展開します。

まず、基本目標1は学校教育の分野になります。目標は「全ての子どもの「生きる力」を育む」であり、子どもたち一人一人の個性を大切にしながら、確かな学力、豊かな心、健やかな心身の育成など、社会の変化に対応しながら、たくましく生き抜いていく力を育むものであります。

基本目標2は生涯学習の分野になります。目標は「生涯学習活動への主体的な実践力を育む」であり、市民一人一人が、学ぶ楽しさや喜びを感じ自己実現を目指すとともに、地域の絆を大切にしながら、住みよい地域社会づくりに参画できるよう、生涯にわたり主体的に学習活動やスポーツ活動に取り組む力を育むものであります。

基本目標3は歴史・文化・芸術の分野であります。目標は「歴史・文化・芸術への関心を高め豊かな感性と郷土愛を育む」であり、本市の文化等を身近に感じる取組を

通して、本市の豊かな自然や歴史・文化・芸術について、市民の興味を喚起し関心を高め豊かな感性と郷土愛を育むものであります。以上が基本理念、基本目標となります。それでは再度、資料「喜多方市教育振興基本計画の見直しについて」をご覧ください。

「5 今後のスケジュール」についてであります。第5回教育振興基本計画審議会の開催を2月16日に予定しており、計画案について審議を行い、答申を行うこととしております。計画の決定については3月下旬に予定しており、教育委員会の会議において最終審議を行い、決定とすることとしております。以上です。

●齋藤企画調整課長補佐

続きまして、資料「喜多方市教育大綱について」をご覧ください。

教育大綱については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、地方公共団体の長が定めることとなっておりますが、教育振興基本計画をもって教育大綱に位置付けることができるとされております。本市においては、平成29年度から令和8年度までの10年間を計画期間とする喜多方市教育振興基本計画の基本理念及び基本目標を大綱として位置づけているところであります。

令和3年度におきましては、喜多方市教育振興基本計画の見直しを行っているところでありますが、基本理念、基本目標については変更がないことから、教育大綱については継続としたい考えであります。以上です。

●遠藤市長

それでは、ただいま所管課より「(1)喜多方市教育大綱について」説明がありました。委員よりご質問等ありましたら、お願いします。高橋委員。

●高橋委員

「喜多方市教育振興基本計画＜令和3年度見直し＞（案）」の14ページについて、書かれている内容はすごく良いものと思いますが、4段落目の「教育委員会では、～」の文章が長く読みづらい印象を受けるため、途中で区切る等すると良いと考えます。

●遠藤市長

それでは答弁をお願いします。教育総務課長。

●佐野教育総務課長

本計画については、策定後、市民へ公表していくものとなります。そのため、市民側に立った表記を考えていく必要があると考えますので、意味合いは変えず、文章については検討をさせていただきたい考えであります。

●遠藤市長

その他ございますでしょうか。

なければ、私からご質問させていただきますが、パブリック・コメントについては非常に大切なことと考えております。今回募集をしたところ、意見がなかったということで、これは市民にとって関心がなかったのか、あるいはパブリック・コメントの手法を今後検討する必要があるのではないかと考えたところであります。意見がな

かったことについて、事務局としてはどう捉えているのでしょうか。

●佐野教育総務課長

パブリック・コメントに関しては今回意見がなかったものと認識しておりますが、本計画については、外部の意見を反映させるという内容から、教育振興基本計画審議会を設けており、委員が12名で構成されるものとなっております。この構成委員については、教育の各界を代表する方に委員になっていただいております、社会教育団体やスポーツ団体、小中学校、PTA等といった幅広い分野の方々に参画いただき、今年度は計画の見直しについて計4回開催してきたところであります。その会議につきましては、2時間という中でたくさんの意見が出され、本計画の見直しに反映したところであります。

今後パブリック・コメントについては、期間を十分に取ることと周知の仕方を検討して参りたい考えであります。

●遠藤市長

県で実施しているパブリック・コメントについても少ない状況であります。今後は、手法について検討していただくようお願いします。

その他、ご意見等ありますでしょうか。荒明委員。

●荒明委員

今回計画の見直しをして、重点施策などを定めたので、着実に遂行がされているかが市としても、市民の方にとっても目に見えるような形でわかるように進めていくことが大事だと考えます。

●遠藤市長

ご意見に対して、担当課より何かありますでしょうか。教育総務課長。

●佐野教育総務課長

貴重なご意見をありがとうございます。本計画の進行管理につきましては、毎年度、点検及び評価を行うこととしており、市内部での評価、外部委員の評価、教育委員会での評価という流れで実施するものであります。また、今回の計画の見直しにあわせて、実施計画の作成も必要となります。実施計画につきましては、令和4年度（4月1日）から速やかにスタートができるよう、3月には策定をし、計画の進行管理とあわせて行っていきたい考えであります。

●遠藤市長

他にありますでしょうか。高橋委員。

●高橋委員

パブリック・コメントに関しては、市民一人一人が自分に関係しているとあまり感じていないと考えます。会議委員のように、計画等について議論する場があれば気付く部分があったりすると思いますが、学校教育等に関わっていない人が意見を出すというところまではなかなかしないと思うので、例えば公民館の講座や市民講座などのような場で、計画に対して意見や考えを聞くといったことをしてはどうでしょ

うか。他にもさまざまなやり方はあると思いますが、そういった工夫が必要と考えます。

●遠藤市長

それでは、答弁をお願いします。教育総務課長。

●佐野教育総務課長

ご意見ありがとうございます。計画につきましては、作って終わりというわけではなく、その計画に沿って事務を進めていき、それが最終的に市民のためになるということだと考えます。計画の周知については、内部で検討をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

●遠藤市長

教育長はどうお考えでしょうか。

●大場教育長

やはりパブリック・コメントをした結果、意見がなかったというのは、どう受け止めたほうがいいのか個人的に悩んでいたことでありました。市民にとって本当に関心がないのか、計画に意見を述べるほどのことがなかったのか、さまざま考えることがあります。市民への周知の方法については今後考えていく必要があるものと考えます。

●遠藤市長

それでは、(1)喜多方市教育大綱については、このような形でよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。計画に沿ったスケジュールで進めていきたいと考えますので、よろしくお願いします。

続きまして、(2)学力調査に係る結果の公表について議題といたします。所管課より説明をお願いします。

●穴澤学校教育課長

それでは、学力調査に係る結果の公表についてご説明いたします。資料をご覧ください。

はじめに、「1 趣旨」であります。市内の小・中学校では、学力向上に向けて、創意工夫をしながら日々授業改善等に取り組んでいるところでありますが、全国学力調査やふくしま学力調査の結果は、市全体の平均正答率が全国平均を下回っている状況です。

児童生徒や教職員、保護者、地域の皆さまが、自分の学校や子どもが通う学校、地域の学校のよさや課題を「自分事」としてとらえ、「喜多方の未来を担う宝」であるすべての児童生徒の学力向上に対して、力を合わせて取り組むことができるようにするために、学力調査の結果の表し方について、これまでの「全国平均を(やや)上回る」「全国平均と同程度である」「全国平均を(やや)下回る」などの表現ではなく、今後は、数値で公表することとしたいと考えております。

次に、「2 学力調査結果の公表内容」についてであります。①全国学力調査の結果については、調査対象学年が小学6年生、中学3年生となります。公表の内容ですが、「学年」「各教科の平均正答率」については資料1をご覧ください。

全国学力調査結果のイメージであります。各教科の平均正答率を小学校、中学校に分けて表したものとします。小学6年生を例としますが、教科は国語と算数で、全国平均を100とした場合に、福島県、喜多方市の数値を表にすることとします。中学校については教科が国語と数学となり、表については同様の考え方となります。はじめの資料にお戻りください。

学力調査の対象教科についてであります。小学校は国語と算数、3年毎に理科が含まれます。中学校は国語と数学、3年毎に英語が含まれます。次に②ふくしま学力調査の結果について、こちらは県で実施しているものであります。調査対象学年が小学4年生から中学2年生までとなります。公表内容は県平均を100とした場合の喜多方市の数値を表にすることとします。

「3 公表の方法」についてであります。市民と保護者へは別の様式で公表をすることを考えております。資料1及び2をご覧ください。

市民への公表については資料1に記載する表のとおりとなります。保護者への公表については資料2に記載する表のとおりとなり、下段に自校の数値を表記することを考えております。

はじめの資料にお戻りいただき、「4 公表の時期」についてであります。時期は毎年10月頃を考えております。令和3年度分については令和4年2月中旬頃を予定しております。説明は以上であります。

●遠藤市長

それでは、ただいま所管課より「②学力調査の結果の公表について」説明がありました。委員よりご質問等ありましたら、お願いします。高橋委員。

●高橋委員

資料に示す表の単位は何になるのでしょうか。

●遠藤市長

それでは答弁をお願いします。学校教育課長。

●穴澤学校教育課長

単位につきましては、割合で示すのか、点数で示すのか、わかりやすいもので示すことを前提とし、今後検討を進めたいと考えます。

●遠藤市長

他にありますでしょうか。大森委員。

●大森委員

全国学力調査の結果における対象教科について、中学生であれば3年毎に英語が公表されるということであるが、その理由というのはどういったものであるのでしょうか。

●遠藤市長

学校教育課長に答弁をお願いします。

●穴澤学校教育課長

全国学力調査は国で行っているものであり、市から国語と数学と英語を希望して公表するものではありません。なぜ3年毎かということについては、国語や数学に主を置きながら、英語（小学校であれば理科）も重要であるため適宜調査を行うという内容ではないかと考えますが、確実な内容ではありません。

●遠藤市長

その他ありますでしょうか。大森委員。

●大森委員

公表についてのイメージについて、資料1と2で分けると説明があり、保護者に対しては自校の結果を公表するとしています。保護者間のネットワークを通じて、市内の全ての学校の結果がわかってしまうことが出てくると考えます。そうであれば、はじめから市で公表しても良いと考えますがどうでしょうか。

●遠藤市長

これについて、学校教育課長にお答えいただきたいと思います。

●穴澤学校教育課長

保護者間で情報を集めれば市内全校の情報がわかってしまうと思いますが、教育委員会としては生徒や保護者、教師を守るという観点から、数字が独り歩きしてしまうのは危険性が高いと認識しております。そのため、資料に示す公表のイメージを実際に保護者へ配る際は、保護者の立場として何ができるのか考えていただく文章を付けることとし、子どものために何ができるかという意識に向けられるようにしたいと考えます。

●遠藤市長

いまほどの答弁について、大森委員。

●大森委員

学力向上のために学校ができること、保護者ができること、地域ができることは何かを考えていくためには、客観的に示された数値がないと分からないと思います。現状認識をしなければ改善もできないと考えますので、そういった部分に目を向けてほしいと思います。意見として述べさせていただきます。

●遠藤市長

その他、意見はありますでしょうか。高橋委員。

●高橋委員

各学校によるコミュニティスクールの推進ということで、学校運営協議会の委員がいるとおもいますが、この委員は人事権を持っているのでしょうか。

●大場教育長

人事権といっても一般的な人を動かす（異動）という力は持っていない。

●高橋委員

そうであればいいが、ここで学校の序列ができてしまうと学校や担任に対する不満が出てきて、教師への不安をあおってしまう可能性も出てくると思います。結果の公表をするメリット、デメリットがあるかと思いますが、子どもに対する教育だけではなく、保護者や地域の方へ理解をしてもらう機会をつくる必要があります。

●遠藤市長

これについて答弁をお願いします。学校教育課長。

●穴澤学校教育課長

貴重なご意見ありがとうございます。地域の方への説明については、学力等に関する共通理解や課題の認識をしてもらえる場を工夫してつくりながら、地域一体となって進めていきたい考えであります。また、先ほどの資料説明の内容ですが、学力調査結果の各校の数値については、学校間で公表することとして考えております。

●遠藤市長

その他ありますでしょうか。遠藤委員。

●遠藤委員

公表のイメージについてですが、全国や県、市の数値だけでなく、下段に「あと1問できたら～」といった学習意欲を高めるような文章を添えてあげれば良いと考えますが、いかがでしょうか。

●遠藤市長

この意見についてどうでしょうか。学校教育課長。

●穴澤学校教育課長

ご意見ありがとうございます。保護者へのお便りの中にはそういった文章を入れさせていただきながら、公表する内容にも記載できるよう検討したいと考えます。

●遠藤市長

その他ありますでしょうか。荒明委員。

●荒明委員

遠藤委員の意見に加えて、「この分野が弱い」などの文章もあって良いと考えます。また、学力調査の結果の公表について、市民へはホームページでお知らせとありますが、パソコンを持っていない方もいるため、これだけではあまり広がらないと思います。

さらに、保護者へは自校数値と合わせてお知らせとありますが、これは紙で配付するものと考えてよいのでしょうか。

●遠藤市長

それでは答弁をお願いします。学校教育課長。

●穴澤学校教育課長

まず、市民へのお知らせについてホームページのみではあまり広がらないのではと意見がありました。これについては、効果的に発信できる方法について検討を進め

てまいりたいと考えております。

また、保護者への公表の仕方についてであります。こちらは紙媒体での配付を考えているところであります。

●遠藤市長

その他ありますでしょうか。大森委員。

●大森委員

今ほどの内容に関連してですが、広報きたかたへの掲載は考えていないのでしょうか。

●遠藤市長

答弁をお願いします。学校教育課長。

●穴澤学校教育課長

広報きたかたへの掲載を含めて、効果的な発信方法を検討して参りたいと考えております。

●遠藤市長

その他どうでしょうか。高橋委員。

●高橋委員

「あと1問できたら～」というものはとても良いと考えます。広報きたかたへ掲載する際は、こういった表現をぜひ検討してほしいと考えました。

●大場教育長

本市の実情で言えば、児童・生徒一人一人があと1問できれば、全国でトップクラスになるところまできている状況であります。ご意見いただいたように、意欲を引き出せるようなものと考えてまいりたいと思います。学校の役割は何か、保護者の役割は何か、地域としての役割は何か、今後も考えながら、進めていきたい考えであります。

●遠藤市長

その他ありますでしょうか。なければ、(2)学力調査に係る結果の公表については、このような形でよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。それでは本日予定しておりました協議事項は全て終了いたしました。意見を出していただいた委員の皆さまに感謝し、進行を交代いたします。

●齋藤企画政策部長

ありがとうございました。それでは「4 その他」になります。委員の皆さまから何かございますでしょうか。

特になければ、以上をもちまして、令和3年度第2回喜多方市総合教育会議を閉会いたします。大変ありがとうございました。

以上